



2024年5月13日

各位

株式会社 C K サン エ ツ  
代表取締役社長 釣谷 宏行  
(コード番号 5757 東証プライム)  
問合せ先 取締役管理統括部長 松井 大輔  
TEL (0766) 28-0025

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について、当社の現状を評価・分析し、企業価値向上に向けた今後の方針・計画について決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 現状評価（連結ベース）

	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
売上高 (百万円)	75,447	69,130	115,343	123,838	111,433
営業利益 (百万円)	4,329	5,392	10,771	8,279	7,929
経常利益 (百万円)	5,862	422	6,571	8,655	6,094
当期純利益※ (百万円)	3,476	174	4,313	5,318	3,815
1株当たり純資産額 (円)	4,328.49	4,255.95	4,649.01	5,240.76	5,663.62
1株当たり当期純利益金額 (円)	424.53	21.16	517.19	644.39	458.22
自己資本比率 (%)	63.3	53.3	54.2	57.5	61.5
ROE (%)	10.2	0.5	11.7	13.0	8.4
PER (倍)	6.93	197.07	7.39	6.75	8.67
株価 (3月末) (円)	2,940	4,170	3,820	4,350	3,975
PBR (倍)	0.68	0.98	0.82	0.83	0.70

※親会社株主に帰属する当期純利益

当社の2024年3月期におけるROEは8.4%と、3期連続で8%以上となっております。一方で、PBRは2024年3月末時点で0.70倍となっています。この要因としては、(1)当社が、生産財のメーカーであるため、消費財のメーカーに比べて、知名度が低いこと、(2)海外からの投資が少ないこと、(3)過去からの内部留保が少なかったため、配当性向を低めにせざるを得なかったことなどが挙げられます。

#### 2. 改善に向けた方針・計画

- (1) 知名度向上のために、広告媒体などの活用を検討します。
- (2) 決算情報などの、英文開示を準備します。

- (3) 設備投資やM&Aに備えて内部留保の蓄積に努めると同時に、利益を増やして配当金を増額できるよう努力します。

以上